

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 23 日 (2007.8.23)

【公開番号】特開 2006-186893 (P2006-186893A)
 【公開日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-027
 【出願番号】特願 2004-380781 (P2004-380781)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 11/00 3 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 9 日 (2007.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

次に、音声対話制御装置 1 3 について説明する。図 4 は、図 1 に示す音声対話制御装置 1 3 の詳細な構成を示すブロック図である。図 4 において、音声対話制御装置 1 3 は、音声対話装置 1 1 と、1 以上の音声対話装置 1 2 との間で行われる音声通信を制御するために、送受信部 1 3 1、メッセージ解読部 1 3 2、属性情報記憶部 1 3 3、優先度設定部 1 3 4、対話制御部 1 3 5、音声蓄積部 1 3 6 及び中央制御部 1 3 7 を備えている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 1】

また、最初に選ばれた着信側ユーザとの対話の結果、発信側ユーザが、今回選択された音声対話装置 1 2 (1 2 a) の設置場所に行くことと決定した場合、発信側ユーザの用件は終了し、さらなる音声対話は不要である。この場合、音声対話装置 1 1 は、図示はしていないが、用件が終了した旨を表す発信側メッセージを作成し、ネットワーク 1 4 を介して、音声対話制御装置 1 3 にこれを送信する。これに応じて、音声対話制御装置 1 3 は、音声対話装置 1 1 及び 1 2 (1 2 a) のコネクションを切断し、さらに、例えば音声対話装置 1 1 からの音声情報のように、今回の一連の処理で生成された各種情報を破棄する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 4】

上記の発信側メッセージに応答して、音声対話制御装置 1 3 において、対話制御部 1 3 5 は、音声対話装置 1 1 及び 1 2 (1 2 a) の間に張られていたコネクションを切断する (シーケンス S 1 9)。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 5 9 】

さらに、音声対話制御装置 1 3 は、コネクションを確立する前に、複数の音声対話装置 1 2 からランダムに単一のものを選択し、今回選択した音声対話装置 1 2 と、音声対話装置 1 1 とのコネクションを確立しても構わない。

【 手 続 補 正 5 】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 6 0 】

また、以上の実施形態では、音声対話装置 1 1 からの所定の発信側メッセージの到着により、音声対話制御装置 1 3 は、コネクションを切断していた。しかし、これに限らず、音声対話制御装置 1 3 は、現在コネクションが確立されている音声対話装置 1 1 及び 1 2 の間で所定時間の無音状態を検出すると、そのコネクションを切断するようにしても構わない。